

1-2 グリーンNTT西日本戦略

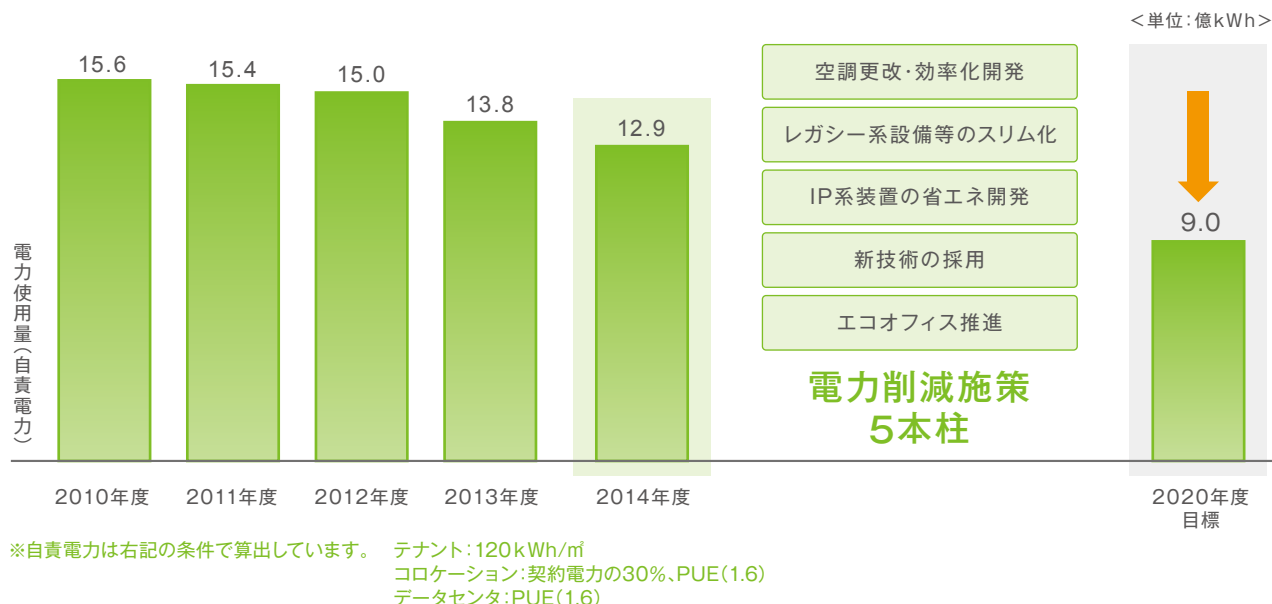
NTT西日本グループでは、これまでも環境負荷低減に積極的に取り組んでまいりましたが、年間約20億kWhという大量の電力を消費している企業責務も踏まえて、よりいっそう電力使用量削減等、環境問題に全力で取り組むことを宣言するため、「グリーンNTT西日本戦略」を2012年6月に策定しました。「グリーンNTT西日本戦略」は、自らの環境負荷を低減することで社会に貢献する「環境グランドデザインの達成」、ICT技術の利活用による事業活動を展開することで環境に貢献する「環境・エネルギー事業の展開」、そして、社員一人ひとりが地域の自然環境保護に貢献する「生物多様性保全活動の推進」を三本柱としています。

環境グランドデザインの達成

環境グランドデザインを数値目標として自らの環境負荷を低減することで社会に貢献します。

2020年度までに、自責電力・紙使用量については2010年度と比較し40%以上削減、廃棄物最終処分率については1%以下にします。詳細は、1-3.環境グランドデザイン(P11)、3-2.グリーンNTT西日本戦略の進捗状況(P19)を参照ください。

2020年度の目標 自責電力▲40%以上



環境・エネルギー事業の展開

ICT技術の利活用による事業活動を展開することで環境に貢献します。

例えば、家庭の省エネでは、消費電力の見える化により、節電・CO₂削減に貢献できます。NTT西日本グループでは太陽光パネルの発電量が見える化する「エコめがね」を提供しています。そのデータは再生可能エネルギーの統計データとして提供し日本全体の再生可能エネルギーの普及に活用されています。ICT技術と不動産を利活用した展開では、環境を身近に感じいただけるよう水耕栽培型レンタル農園「みえ〜るエコ畑」や屋外型「みえ〜る菜園」を展開中です。さらに、太陽光発電に適した敷地に、メガソーラーを建設する等、再生可能エネルギー普及を推進しています。

生物多様性保全活動の推進

社員一人ひとりが、会社として、地域の生物多様性保護に取り組み、地域や自然環境保護へ貢献します。

具体的には、地域主体と協力して、植樹活動を核とした「NTT西日本みどりいっぱいプロジェクト」を全府県、1万人規模での生物多様性保全活動为目标として、活動しています。